

平成30年10月29日

学校だより 特集号

めざす子ども像

《明るい子 考える子 頑張る子》

# 志井の子

北九州市立志井小学校

〒802-0985 小倉南区大字志井 280 番

TEL 093-962-0314

校長 吉村 恵子

## 平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成30年4月17日(火)に、6年生を対象として、「教科(国語、算数、理科)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

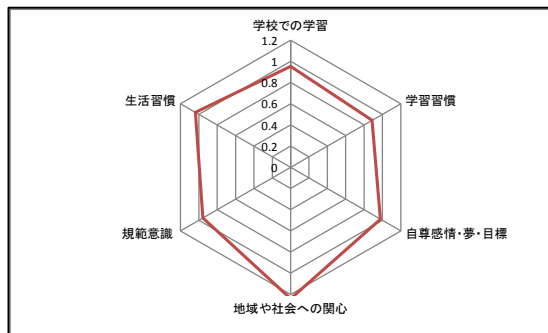
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 教科に関する調査結果の概要

カテゴリー	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語A	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体的には全国平均正答率をやや上回っていた。特に「書くこと」の領域の正答率が高かった。</li> <li>文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く問題の正答率が高かった。</li> <li>相手や場面に応じて適切に敬語を使う問題の全国平均正答率が下回っていた。</li> </ul>	上回っている
国語B	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体的には全国平均正答率をやや上回っていた。「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域の正答率をやや高かった。</li> <li>目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかく問題の正答率が高かった。</li> <li>目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読む問題の全国平均正答率が下回っていた。</li> </ul>	上回っている
算数A	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体的に全国平均正答率をやや下回っていた。特に「数量関係」の領域の問題が全国平均正答率を下回っていた。</li> <li>円周率の意味について理解しているか問う問題の正答率が高かった。</li> <li>直径の長ささと円周の長さの関係について理解しているか問う問題の全国平均正答率が下回っていた。</li> </ul>	下回っている
算数B	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体的には全国平均正答率と同程度であった。折り紙の枚数が100枚あれば足りる理由を示された数量を関連付け根拠を明確にして記述する問題の無回答率が低かった。</li> <li>示された考えを解釈し、条件を変更して数量の関係を考察し、分配法則の式に表現する問題の正答率が高かった。</li> <li>示された考えを解釈し、他の数値を表に整理し、条件に合う時間を判断する問題の全国平均正答率が下回っていた。</li> </ul>	同程度
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体的に全国平均正答率をやや下回っていた。特に「エネルギー」の区分の問題が全国平均正答率を下回っていた。</li> <li>安全に留意し、生物を愛護する態度をもって、野鳥のひなを観察できる方法を構想する問題の正答率が高かった。</li> <li>太陽の1日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を目的に合ったものづくりに適用する問題の全国平均正答率が下回っていた。</li> </ul>	下回っている

### 2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する調査結果の概要



**質問紙調査の結果分析**

- 地域や社会への関心が高く、地域行事に参加する児童が多い。
- 学校で課題をもち、自分で考えて勉強している児童の割合が少ない。「めあて」「まとめ」「振り返り」のより確実な実施を行い、見通しをもって学習に取り組ませる必要がある。
- 学校の授業以外の勉強時間、家で自分で計画を立てて勉強している割合が少ない。家庭とも連携し、家庭学習の工夫・改善を行う必要がある。

### 3. 調査結果から明らかになった課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

授業において、「めあて」「まとめ」を書くことを確実にを行い、自分の考えを表現する「振り返り」の時間を設定する。

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

家庭学習チャレンジハンドブックの活用等を行い、生活習慣や学習習慣の見直しを図るように家庭と連携する。